

【検証授業Ⅰ】

愛西市立西川端小学校 3年

1 単 元 店ではたらく人々の仕事

2 単元について

本学級の児童は、男子10名女子17名の合計27名の学級である。1学期に実施した校区探検では、校区内にある神社、寺社、工場を訪ね、そこにある建物の使い方や目的について興味をもち、自ら進んで調べたり、質問をしたりする姿が多く見られた。自らの中に芽生えた小さな疑問を大切にし、より深く学んでいこうとする意欲をもつ児童が多く見られる。

本単元では、学区近くにあるスーパーマーケットAを取り上げていく。このスーパーマーケットは、ほとんどの児童が行ったことがあり、保護者とともに買い物をする経験もあって、児童の生活の中にとっても身近な場所であると言える。しかし、スーパーマーケットは、児童にとって商品が置かれていて、それを購入するだけの存在であり、販売側の工夫や願い、商品が店に並べられるまでの経緯、消費者が利用する理由などについて、目を向けることもない場所である。このスーパーマーケットを調べる学習を通して、地域の人々の販売に関わる仕事は、自分たちの生活を支えていることや販売に関わっている人々の工夫や他地域との関わりについて気付かせるには、よい教材であると考えます。

本単元では、問題解決的な学習に取り組んでいく。児童が学習問題を設定し、見学をして調べたり、話し合ったりして問題追究をしていく。そして、児童は与えられた問題を要領よく処理するだけでなく、自ら学ぶという姿勢を大切に、自ら問題を発見するという力を伸ばしていきたい。その上で、問題をどのような方法で追究していくかを知り、見学や体験を通して問題解決するための情報収集し、活用する力を高めていくことを目指していきたい。

3 単元目標と評価規準

(1) 単元目標

地域には、販売に関わる仕事があり、自分たちの生活を支えていることや販売に関わっている人々の工夫や他地域との関わりについて具体的に考え、理解するとともに、調べたことや考えたことを表現する。

(2) 評価規準

	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象について の知識・理解
評価 規 準	① 地域の人々の販売の仕様の様子に関心をもち、意欲的に調べている。	① 地域の人々の販売の仕様の様子について、学習問題について予想をし、追究している。	① 地域の人々の販売の仕様の様子について、見学・調査して情報を収集し、販売者の工夫を読み取っている。	① 地域の人々の販売の仕事は、自分たちの生活を支えていることを、消費者の工夫と関連付けて、理解している。
	② 地域の人々の販売の仕事について、自分たちの生活との関わりを考え地域社会の一員としての自覚をもとうとしている。	② 地域の人々の販売の仕事に関わる人々の工夫を、自分たちとの生活と関連付けて考え、適切に判断し、表現している。	② 地域の人々の販売者の仕事の様子について、見学・調査したことを絵や地図などを用いて、分かりやすくまとめている。	② 地域の人々の販売に関わる人々の工夫や他地域とのつながりがあることを理解している。

(3) 単元計画と評価計画 (12 時間完了)

時	主な学習内容と学習活動	おおむね満足 (B)	十分満足 (A)
気付く【斉】 ①	○ 買い物調べした結果を、学級全体の買い物地図や棒グラフにまとめ、気付いたことを話し合い、学習問題を作る。 ・ 買い物した店と理由をグラフにまとめる。 ・ グラフを見て、気付いたことを話し合う。	関① 家の人の買い物に関心を持ち、買い物した場所や行く理由を調べている。	・ 家の人の買い物に関心を持ち、買い物した場所や行く理由を具体的に調べている。
	スーパーマーケットAの人気のひみつを探りだそう！		
調べるI【ペア】 【グ】 ② 【グ】 ③ ④ 【斉】 ⑤	○ スーパーマーケットを見学する計画を立てる。 ・ 学習問題を解決するためには、何を調べればいいのかを話し合う。 ・ 消費者の立場に立ち、実際に買い物し、消費者の立場に立って、店の工夫についてイメージをもつ。	思① 学習計画の説明を受け、店に行く理由に目を向け、追究・解決しようとしている。	・ 学習計画の説明を受け、店への見学の視点を意識し、自分なりの視点で追究・解決しようとしている。
	○ スーパーマーケットを見学し、自らが買い物をし、消費者様の視点からスーパーマーケットを考える。 [売り場の工夫] ・ 商品の種類ごとに分類されている。 ・ 安売りのセールをしている。 [働く人の様子] ・ レジの人が忙しそうだね。 ・ 品物を運ぶ人や、店の奥で何かをしている人がいる。	技① 見学の視点に基づき、店内で働く人を取り材したり、その様子を観察したりして情報を記録している。	・ 見学の視点に基づき、自分の予想を生かしながら、店内で働く人を取り材したり、その様子を観察したりして情報を記録している。
	○ 見学のまとめをする。 ・ 店の様子について気付いたことを、カードに書いて発表する。 ・ 店内だけでなく、店の奥にも多くの人々が働いていることにも気付いて発表する。	技① 買い物を通して、消費者の立場から店の工夫を読み取っている。	・ 買い物を通して、消費者の立場から店の工夫について、売り場の様子など具体的に読み取っている。

調 べる Ⅱ 【グ】 ⑥ ⑦ ⑧ 【個】 ⑨ 【斉】 ⑩ ⑪	○ スーパーマーケットの見学をする計画を立てる。 ・店の奥で仕事をしている人 ・販売者のよりよい商品を消費者に届けるための工夫 ・各売り場の工夫の違い ○ スーパーマーケットの見学をする。 ・店長の話を聞き、質問をする。 ・商品が置かれている倉庫 ・店の奥での働き ・各売り場の工夫や宣伝・広告の工夫 ・調べるテーマ以外に気になったことの記録 ○ さまざまな店の工夫についてまとめる。 ・各売り場で働いている人の工夫 ・商品の並べ方の工夫 ・店の外の工夫 ・宣伝の工夫 ○ 店の工夫について発表する。 ○ 商品を通して、自分たちの生活とさまざまな地域とのつながりを考える。	思① 調べるテーマから、スーパーマーケットの工夫について質問を考えている。 技① 見学の視点に基づき、店内で働く人の工夫や努力を取材したり、観察したりしてまとめている。 思② スーパーマーケットの工夫について、見学の視点を基に、販売者側の視点から考え、まとめている。 知② 商品を通して、販売の仕事は自分たちの生活や他地域との関わりがあることを理解している。	・調べるテーマを意識し、自分の予想を生かしながら、スーパーマーケットの工夫について、具体的な内容で質問を考えている。 ・見学の視点に基づき、自分の予想を生かしながら、店内で働く人の工夫や努力を取材したり、観察したりしてまとめている。 ・スーパーマーケットの工夫について、見学の視点を基に、販売者立場と消費者の立場を関連付けて考え、まとめている。 ・商品を通して、販売の仕事は自分たちの生活や他地域との関わりがあり、それらのつながりは不可欠なものであることを理解している。
ま と め る 【個】 【斉】 ⑫	○ スーパーマーケットに多くの人が来る理由を学習したことを基に発表する。 ・スーパーマーケット見学のお礼の手紙の中に、お店の工夫をまとめる。	思② スーパーマーケットの工夫が消費者の願いと結び付いていることに気付いて表現している。	・スーパーマーケットの工夫が消費者の願いと結び付いている理由を考えると、自らが消費者として気を付けなければならないことを考え、表現している。

【斉】一斉学習 【個】個別学習 【ベ】ペア学習 【グ】グループ学習

4 指導実践事例 調べるⅡ（問題追究）【一斉】⑩

(1) 目標

発表を通して、捉え直した店の工夫について、自分の考えを自分の言葉で表現することができる。

(思考・判断・表現)

(2) 準備

教師 見学したときの写真，ワークシート

児童 発見カード

(3) 指導過程

時間	児童の活動	教師の活動（・教師の支援）
2	1 本時の学習課題を知る。	・課題を思い出せるように見学の時の写真を提示する。
	スーパーマーケットAは、どんな工夫をしていたのでしょうか。	
33	2 見学で見つけた工夫を発表する。 魚売り場の工夫 ・魚を使いやすいように切って売る。 ・似た種類の魚を並べない。 肉売り場の工夫 ・肉と一緒に使う商品を近くに置く。 ・賞味期限まで短いほど値段が安い。 お店の外や裏の工夫 ・中にいる人と外で販売している人は服装が違う。清潔にしている。 ・きれいに掃除がされている。掃除をしている人がいる。 ・トレイ入れがある。 ・カートを運んでいる人がいる。 商品の並べ方の工夫 ・斜めに商品を置いて見やすくしている。 宣伝の工夫 ・店内放送で目玉商品を呼びかけている。 ・店の周りにのぼりを立てている。 ・入口に広告を貼っている。 ・数字の色や大きさを変えて、値段を示している。 店員さんの工夫 ・目玉商品は手の届きやすい棚の高さに並べている。 ・肉や魚は店の奥で売っている。	・児童が考えやすいように、分類する。 ・友達の見解を聞くように声をかける。 ・見つけた工夫を発表するときに、その理由も発表するように声をかける。 ・同じ意見や似ている意見から発表するように促し、その関連性に気付かせる。 ・児童が発表した内容が、他の児童に伝わりにくい場合は、写真を提示して確認をする。 ・清掃をしている人など、裏方で働いている店員に気付くことができない場合には、写真を提示する。 ・ゴミ置き場やトレイ置き場に意見が出た時には環境問題と関連付けていく。 ・商品の表示方法の違いにも目を向けるようにする。 ・店内放送の工夫が出た場合、聞き逃した児童のために録音を流す。 ・表示の工夫が出た場合には、多様な意見が出るように、工夫と考えた理由を発表するように声をかける。 ・産地についての工夫が出た時には、どんな商品がどこから運ばれているかを発表させ、多くの地域から多くの種類の商品が運ばれていることに気付かせる。
10	3 店の工夫について、分かったことやその理由を書き、発表する。	・友達の発表からも店の工夫を捉え直し、まとめることができるように声をかける。

(4) 評価

・発表を通して、友達のことを聞いて捉え直した店の工夫について、自分の考えを自分の言葉で表現することができたか、発表やワークシートから判断する。(思考・判断・表現)

5 実践の流れ

(1) 「買い物調べをしよう」 気付く（問題設定）

「スーパーマーケットAの人気の秘密を探り出そう!」【一斉】①

事前に家族への聞き取りをして、買い物調べを行い、ワークシート（資料1）には、「買い物をした店」と「買ったもの」について記入をさせた。また、「そのお店に買い物に行く理由」について、保護者に確認をしてくるように課題を出しておいた。

「買い物をした店」と「買ったもの」について発表させ、買い物に行った店とその回数を示したグラフ

資料1 買い物調べワークシート

第1回 西川端小学校 3年 買い物調べ 3年1組 番			
店名	店名	何をかう	何をかう
(① 食べる・飲む物 ② 着る物 ③ 本・文房具 ④ おもちゃ ⑤ その他)			
B店	①	鳥ももチキン	たまご
スーパーA	③	赤えんぴつ	
C店	⑤	電球	
C店	①	ジュース、ハンバーガー	
D店	①	レタス たまご	
スーパーA	①	かりがりくん、パペット、スーパーキャブ	
E店	①	コマラのマーチ	

☆ どのお店で買ったかをきりさせよう。例えば「コンビニ」だけではどのコンビニかわからないので2学期の勉強で役立ちません。
 ☆ 3日間いじょう調べよう。自分の生活のものを調べてください。

を教師がまとめた。児童は、そのグラフを見て、「Aの店に行く人が多い」「愛西市以外の店に行く人も多い」という声が上がった。また、買った商品の内容を見て、「買う物によって、場所が変わる」という意見も出てきた。そして、郊外の大規模ショッピングセンターを利用している家庭が多いという一面に目を向けることもできた。

そこで、教師は事前にグラフの結果を把握していたので、「クラスのほとんどの人がスーパーマーケットAを利用しているのはなぜだろう」という疑問を投げかけた。児童は、自分たちの保護者から聞いた意見を参考にしながら「近いから」「品ぞろえが豊富だから」「遅くまでやっていて、仕事の帰りに寄れるから」「ポイントカードがあるから」「リサイクル場があるから」という意見を発表した。利用している理由について、近くて便利であるだけでなく、いろいろな面に目を向けることができていた。ただ、これらの意見は推測であり、明確な証拠をつかむために「スーパーマーケットAの人気の秘密を探り出そう!」という学習問題を設定し、みんなで追究していくことにした。

(2) 調べるI（問題追究）

「スーパーマーケットA 第1回見学の計画を立てよう」【ペア】【グループ】②

見学の計画を立てる段階において、児童は「スーパーマーケットAの人気の秘密を探り出すためには何を調べればいいのか」というテーマで話し合い、消費者の立場からスーパーマーケットAに行く理由を考えた。資料2のワークシートに考えを書き、2人1組のペアで話し合いをしたところ、「安売りセールをやっているから」「いろいろな店があるから」「季節に合

資料2 ペア・グループの話し合いワークシート

第2～4時
 <お店ではたらく人びとのしごと> 3年 1組 番 名前

1 どうしてスーパーAは多くの人びとが買い物をするのだろうか。

(ペアどうして考えてみよう) ※第2時でペアで考えた理由を書く。

品ぞろえがよい(服や文房具が売っている)
 中にいろいろなお店がある(ケータインさんなど)

↓

(グループどうして考えてみよう) ※第2時でペアの考えを聞かせ、グループの考えを書く。

中日か日一がまけたりしたらセールがある
 中にいろいろなお店がある

せて売っている物が変わるから」「駐車場が広いから」「品ぞろえがいいから」「店員さんが優しいから」という多様な意見に広がった。その意見を基に、更に4～5名1組のグループで話し合い、資料2のワークシートにその各グループで調べるテーマを書いた。そして、活動目標（資料3）を決めた。

資料3 各グループの第1回見学時の調査テーマと活動目標

- (1はん)
○季節に合わせて売っている物が違っている。→売り場ではどんな工夫をしていたかを調べる。
- (2はん)
○中にいろいろなお店があるから。セールをやっているから。→どんなお店があるかを調べる。
- (3はん)
○ポイントカードについて調べる。ポイントカードを使ってみる。
→ポイントカードについてお店の人に聞く。実際にポイントカードを利用してみる。
- (4はん)
○駐車場が広いから。リサイクルコーナーがあるから。
→駐車場やリサイクルコーナーを調べる。駐車台数やリサイクルコーナーの様子を調べてまとめる。
- (5はん)
○安い店がいっぱいそろっている。→安く売するためにどんな工夫をしているかを見付ける。
- (6はん)
○店員さんが優しいから →実際に店員さんに商品を買う時に質問をしてみて触れ合う。

また、児童が消費者としての心理をより体験的に把握するために、1回目の見学において、実際に買い物を体験することにした。「上手な買い物をするためには、どのようなことに気を付ければよいか」と児童に聞くと、「必要なものだけを買う」「賞味期限に気を付ける」「セールになっている物を選ぶ」という声が出た。このような消費者の願いをかなえるために、スーパーマーケットAでは、どのような工夫がされているかを調べるという視点を意図的に与え、見学活動へとつなげた。

(3) 調べるⅠ（問題追究）「スーパーマーケットAに見学に行ったよ」【グループ】③

グループの各テーマに別れて、ワークシート

資料4 見学用ワークシート

(資料4) にメモをしながら意欲的に調べ活動を行った。自分たちのテーマを調べるだけでなく、他グループのテーマに関連する内容をメモする児童もあり、さまざまな角度から意欲的に調べ活動を進める様子が伺えた。また、教師はデジタルカメラを利用し、各グループが調べるテーマの回答やヒントとなる場面を撮影して、まとめておいた。

見学後、教師が「どうしてスーパーAに多くの人が行くのか、ヒントはつかめましたか」と聞くと、「店員さんが書いた商品の感想の宣伝があった」「自分の買いたい商品が分からなくて困っていると、店員さんの方から声をかけてくれた」と見学で観察したり体験したりしたことを挙げる児童が多くいた。また、「5分くらいの間に、リサイクルコーナーにどんどん人が来ていた」と、見学する中での発見や驚きを声にしていく児童もあり、見てきたことを基に考えを広げていく姿が見られた。

(4) 調べるⅠ（問題追究）「見学したことについて発表しよう」【一斉】④

自分たちが調べてきたことについて、見学ワークシートを基に発表した。

グループの代表者が調べたテーマ、調べたことを発表した。そのあと、発表したグループに対して質問をしたり、そのグループが発見できなかったことを補足発表したりして、より深まった追究活動を行った。

3 スーパーマーケットのひみつをさがそう。自分たちが、よそうしたこと「しょうこ」をみつけれられるといいですね。

○ちゅうしゃ場が広い。
○しるいごとに場所がわかるからわかりやすかった。
○店員がコンビニよりタタい
店員がやさしかった。

4 スーパーAは他の店とどんなところがちがうのかな。お店を見ながら書いてみよう。

★ちゅうしゃ場が広いから。
★ほしいものが全部あるから
★中せんたいが広いから。
★店員さんが場所がわからないときにやさしくてねいに教えてくれるから。
★しるいごとにしるいから1つのしるいじゃない
★いからお客さんたちがうれしんだ
★いかと思う。
★おじいちゃんやおばあちゃんたち
★かいてん車でいけるから。
★コンビニより文房具や17ラジ
が多いから

グループのテーマに沿って、「大きな数字で値段が書かれていた」「駐車場には1,500台の車が停めることができる」「お肉コーナーや魚コーナーが分けられていた」「お弁当やお刺身は出来立てを売っていた」と発表が続いた。

「店員さんが優しいから」というテーマで追究活動をしたグループは、次のように代表者が発表した。「麦茶を買う時、売り場まで案内してくれた店員さんに2種類ある麦茶のうち、安い方を買った方がいいよと勧められた」と発言をした。それに対して「自分が店員なら、高い方を勧めるよ。だって、そっちの方がもうかるのに」という反論を受けた。反論者に同調する声も多く、店員さんの行動についての話し合いに発展したが、「なぜだろう」という疑問に学級全体が困惑した雰囲気になった。

そこで、教師が「それなら実際にお店の人に聞いてみよう」と提案し、再度スーパーマーケットAを訪問することにした。

(5) 調べるⅡ（問題追究）「スーパーマーケットA 第2回見学の計画を立てよう」【グループ】⑥

第2回目の見学をする事前学習として、「第1回の見学のときに、お店でどんな仕事をしている店員さんがいるかを思い出してみよう」という問いを児童に投げかけた。すると、児童は直接触れ合った「レジの人」「商品を並べる人」で意見が止まってしまった。

教師は、駐車場を調べたグループの児童に「駐車場に店員さん、いませんでしたか」と切り返しをすると、「掃除をしている人がいた」「カートを移動させる人がいた」と意見を発表し始めた。そして、「肉を切っている人がいる」「お弁当を作っている人がいる」と、児童は店を支える人々に目を向けることができた。

そこで、「スーパーマーケットAを支える店員さんは、どんな仕事をしているのだろうか。その人たちは、お客さんに商品を買ってもらうために、スーパーマーケットAにいっぱい来てもらうためにどんな工夫をしているかを調べてみよう」と、販売者の目線に立って、追究活動を進めることとした。

2回目の見学活動を進める上で、個々の店員の仕事に目を向けさせながら、販売者が消費者に買ってもらうためにやっている工夫について予想した。すると、児童は、1回目の見学活動や本時で考えたことから、「お店の奥で働いている人の工夫」「商品を並べている人の工夫」「安売りをしている人の工夫」「お店の外で働いている人の工夫」などの意見が出た。

これらの意見を踏まえて、各グループの追究活動のテーマを資料5のように設定した。そして、資料6のワークシートに見学のときに店の工夫についての調べたい内容を記入した。

資料5 各グループの第2回見学の調査テーマ

- (1はん) ○商品の並べ方の工夫について
- (2はん) ○魚売り場の工夫について
- (3はん) ○お肉屋さんの工夫について お肉スコープ
- (4はん) ○お店の外の秘密を探ろう
- (5はん) ○なぜ安売りをするか。広告・宣伝の工夫について
- (6はん) ○店員さんの工夫について

資料6 第2回見学のためのワークシート

スーパーマーケットのひみつをさがろう その2	
3年 組 番 名前	
1	お店にはどんなしごとをしている人がいたかを思い出してみよう。 ○レジをしている店員。○しょう品をならべている店員。 ○ダンボールからしょう品を出している店員。 ○かんしかつを見る人。○ゆかをそうじする人。
2	見学にむけての、たしかめをしましょう。 ① グループのメンバー ② じぶんたちのグループが調べるテーマ ○お店の表、うらの魚うりばについてしらべよう！ ③ もちもの ひっきょうぐ・たんけんバック・社会のプリント・デジカメ（はん長のみ） ハンカチ・はなかみ・名札
3	店長さん、お店ではたくさんへのしつづを考えてみよう！ ○お店にくる人のために、どんなことをくふうしているのかな？？ ○魚は1日に何パックうれますか（たいたいでいいです） ○魚うりばではおすしも作っているんですか。 ○何人で魚うりばをやっているんですか。 ○たいたい魚うりばには何時間いるんですか。 ○魚うりばの人がうれしい時はいつですか。 ○1日でたいたい魚を何ひき使いますか。 ○毎月何時ぐらいに来て、いつまで来ますか。 ○金曜日と土曜日はお弁当も売っていますか。

写真1 魚売り場の取材

資料7 取材ワークシート(魚売り場)

資料/ 取材 フードコート(魚売り場)

4 さあ見学です。スーパー 4に多くの人がやってくるヒントをみつめてきてね。

自分のテーマ: お店の表うらの魚売り場はたいていしらやう
答え
5人でやっている
すしは作っていない(魚うりしは)
たくさんうれる時早くかえられるとき <u>1000/パック以上</u>
<u>18/000パック以上つかう(魚)</u>
<u>6時半から7時半くらいにくる(魚うりはたいてい来る時間)</u>
<u>12時間か14時間くらい(魚うりはたいてい12時間か14時間くらい)</u>
50Lくらいある(肉)
<u>しゃみきけんが切れてるようなやつを半がやう</u> <u>まず見やすいようにと並べがかりやすいようにする</u> そのた
火日お客3000人それ以外2900人がくる。
おそざいあけものは5分ぐらいででる。
おそざいを作るくうは見た目がきれいになるようにする
よく調べてありますね。

(7) 調べるⅡ（問題追究）「お店のさまざまな工夫のまとめ」【グループ】⑨

「魚売り場の工夫」では、「魚売り場
で魚をさばいている。理由は新鮮なものをお客様に食べてもらうため」や「魚売り場は種類ごとに魚を並べている。理由は魚の種類が多いから」とまとめた。「広告・宣伝の工夫」では、「値段の部分だけ目立つように赤色にしている。理由は、安い商品を目立たせるために色を変える。みんなに伝わらないと商品を買ってもらえないから」とまとめた。しかし、「お店の外の工夫」では、リサイクルコーナーだけに目が向き、学習問題を十分に解決できそうでない様子であった。そこで、見学時の写真を提示することによって、リサイクルコーナーの他に駐車場やカート置き場など、消費者がスーパーマーケットAを利用しやすくしている他の要素にも目を向けさせることができた。

第9時でまとめたお店の工夫について、各グループの視点で発表をした。児童は、自分が見学で撮影した写真を用い、発見してきた工夫をより分かりやすく伝えようと意欲的に取り組んだ。

特に、発表のポイントとして、「お店の工夫で分かったこと」「なぜその工夫をしているのか」を示し、聞いている児童に分かるように分かりやすい発表を目指した。

「駐車場には1,500台も車が停めることができることを調べました。また、体が不自由な人のための車を駐車するスペースがありました。また、店内にわざわざカートに戻さなくてもいいように、カート置き場が外にもありました」と自分たちが見付けた工夫を理由付けて説明した（資料8）。

また、第1回の見学の際、麦茶を買う時、売り場まで案内してくれた店員さんが2種類ある麦茶のうち、「安い方を買った方がいいと勧められたのはなぜだろう」という疑問に対して、再度、児童に尋ねた。児童は調べ活動の中で、答えを探し出すことができなかったため、教師が取材しておいた内容である「お客にとって、何が一番いいのかを考えて接するようにしています。またスーパーAに来てもらうことを考えています」という店長の話を紹介した。すると、児童は「スーパーマーケットAにまた行って買い物をしよう」という声を上げた。そして、店員の接客が自分たち消費者の立場に立ったものであることを感じる事ができた。

ここでは特に、販売者の工夫が消費者のためにつながっているものであることに気付かせるために、それぞれの発表を振り返り、「商品の並べ方」に着目させた。魚売り場・肉売り場のグループの発表では、種類ごとに集められていて斜めに置かれているという発表があったことをきっかけに、「並べ方の工夫」を調べたグループを中心に、他の商品の並べ方がどうであったかを確かめた。

次に、「並べ方を工夫すれば売れるのか。置いてあるだけで、君たちは買いに来るのか」と問いかけた。すると、「大きな声でお客さんに知らせなきゃいけない」「セールをしなければいけない」など、いろいろな意見が上がったが、それぞれの発言は、各グループで調べた内容であることに気付かせた。それを確認していくうちに「全部いると思う。どの工夫が抜けてもダメだと思う」「駐車場もないとお客が減ると思う。いっぱい買ったら大変になる」など、販売者の工夫が消費者の便利さにつながっていることに気付く事ができた。

写真2 お店の工夫の発表



資料8 各グループによる発表内容

【店員さんの工夫】

- ・新発売の商品をお客さんにたくさん買ってもらえるように大きな声で知らせている。
- ・厳しく指導してくれる人がいて、その人が教えてくれた通りに言っている
- ・商品の値段を少しでも大きくして見やすくしている。

【広告・宣伝の工夫】

- ・値段だけ目立つようにしている。
- ・店内では、大きな声で商品の宣伝をしている。
- ・お店の人の商品に対する意見が書かれていた看板があった。
- ・割引セールの広告は分かりやすく目立つようにしている。

【店の外の工夫】

- ・リサイクルコーナーはスチール缶・ペットボトル・アルミ缶などの種類に分けられている。
- ・カート置き場が外にある。
- ・1,500台停めることができる駐車場があり、体の不自由な人ためのスペースもある。
- ・朝、掃除をして気持ちよくお客に来てもらえるようにしている。
- ・店の外でも2～5名の人が交代で働いている。

【魚売り場の工夫】

- ・魚売り場を魚の種類で分けている。 ・魚売り場で魚をさばいている。
- ・魚をさばいているところを見えるようにしている。
- ・早いときは朝6時半からお店にきて魚をさばいている。

そして、最後にお礼の手紙を書くことを通して、本単元の学習のまとめとした（資料10）。手紙の文中には、2回の見学で学んだことを二つ入れることとした。文中には、それぞれのスーパーマーケットAで学んだお店の工夫について具体的なことを記述することができた。また、「これからはスーパーAの人々の願いを意識しながら買い物をしたい」という店で働く人々の思いを十分に感じた記述が多く見られ、学習を通して販売者側の工夫を踏まえた感想であることが分かる。

6 単元中の観点「思考・判断・表現」の評価におけるルーブリックによる評価事例 (N=27)

時	【思考・判断・表現】におけるルーブリックと評価事例	判定人数		
		A	B	C
②	なぜスーパーマーケットAに行く人が多いのか予想してみよう。 ＜A判定＞学習計画の説明を受け、見学の視点を意識し、<u>具体的な例を挙げながら</u>お店に行く理由を考えている。 ＜B判定＞学習計画の説明を受け、お店に行く理由に目を向けている。 (例) A 安いし、店員さんも優しいから。ほしい商品がどこにあるのか分からない時は店員さんに聞くと教えてくれるから。 A 一つ一つのお店に分かれているから。買いたい時に迷わず買えるから。 B 近いし、すぐに買い物に行けるから。 B ポイントカードでポイントが貯まるから。 B 駐車場が広いから。 C お母さんがよく買いに行くから。 ＜Cを支援する手だて＞ ペアからグループへの話し合いを進めていく中で、友達の意見を参考にし、自分なりの予想をもたせる。	20	7	0
⑥	スーパーマーケットの工夫を見付けるため、どんな質問をしたらよいのか考えよう。 ＜A判定＞見学の視点を意識し、自分の予想を生かしながら、スーパーマーケットの<u>具体的な工夫について</u>質問を考えている。 ＜B判定＞見学の視点を基にスーパーマーケットの工夫を知る質問を考えている。 (例) A なぜ果物を入り口の方に置いて、肉や魚を奥に置くのですか。 A 高いところにある商品をお客に見えやすくするためには、どんな工夫をしていますか。 B 駐車場には何台車を停めることができますか。 B お肉は一日に何パック売れますか。 B 店員さんが一番大変なときはどんなときですか。 C 休みの日はいつありますか。 ＜Cを支援する手だて＞ 自分たちのグループのテーマを再確認し、自分たちのテーマを解決させるための質問につながっているかを問い直し、友達の考えを参考にさせる。	8	14	5
⑩	スーパーマーケットの見学したことを基に、お店の工夫について考えをまとめよう。 ＜A判定＞スーパーマーケットの工夫について、見学の視点を基に<u>販売者と消費者の立場を関連付けて</u>まとめている。 ＜B判定＞スーパーマーケットの工夫について、見学の視点を基に販売者側の視点からまとめている。 (例) A 魚やお肉も種類が多いので、種類ごとにまとめてあって、買いやすくしていると、買い物が簡単に済むのでこの店に来てくれるから。 A 新発売の商品をお客さんに買ってもらうために大きな声で知らせたり、値段の色を変えたりして、お客さんにちょっとでも分かりやすくと、お客さんがこの店で買いたいと思って、どんどん来てくれるから。 B リサイクル場が細かく分けられていて、お客さんが缶などを捨てたい時に捨てられるから。 B ゴミを減らすために、賞味期限が切れそうな商品を安く販売している。 B 少しでも買ってもらうために試食してもらう。 C 肉を工夫して並べている。	9	16	2

⑫	スーパーマーケット見学して分かったことを入れてお礼の手紙を書こう。 <A判定>スーパーマーケットの工夫が消費者の願いと結び付いている理由を考えるとともに、<u>自らの生活と結び付けて</u>表現している。 <B判定>スーパーマーケットの工夫が消費者の願いと結び付いていることに気付いて表現している。 (例)A 自分は足が不自由なので、よく車椅子マークのところに車を停めています。お店に一番近いので、すごく楽でした。 A スーパーAで買い物をするときに、いろいろな商品があつて、とても選びやすかったです。 B 商品を並べたり、カートを運んだり、いろいろな仕事をしている人がいるのが分かりました。 B お店の人が朝早くから掃除をしていることに驚きました。 B 1日に魚を1,000匹切るのがすごいと思いました。 C いろいろな工夫をしていることが分かってすごいと思いました。	3	24	0
---	--	---	----	---

7 単元定着後評価

単元の終了時に事後テストと2か月後に保持テストを行った。予告なしで、教科書やノート、ワークシートを参考にせず、テストの時間は20分とした。また、使用させたい事柄や用語を選択して文章表現をする記述式のテストで実施した。

設問は、単元で学習した内容の中で、集客理由と店の工夫について、消費者と販売者のそれぞれの立場で事柄と具体例を関連付けながら記述させる。これは思考力・判断力・表現力が確実に身に付いているかを測定するテストである。3年生であることも配慮しながら、児童が分かったこと及び考えたことについて、それぞれを比較、関連付けて短文で表現できればよしとした。

【設問】スーパーAが人気の理由を下の言葉を使って、お客とお店の願いを結び付けながらまとめてみよう。

<お客>

- ① 安い ② 近い ③ しんせん ④ 品ぞろえがよい ⑤ えらびやすい ⑥ こうこく
⑦ 車(ちゅうしゃ場) ⑧ 楽 ⑨ べんり

<お店>

- ① バーコード ② れいとう室 ③ 店員さん ④ ならべ方 ⑤ 商品のせつめい
⑥ ねふだの色 ⑦ 夜おそくまで ⑧ 商品のじゅんぴ ⑨ ね引き ⑩ カートおき場
⑪ リサイクルボックス ⑫ ちゅうしゃ場が広い

★ 使用したルブリックと判定結果

判定	設問②における思考・判断・表現の段階	判定人数(N=27)	
		事後テスト	保持テスト
A	3点以上の事柄について消費者と販売者の思いを関連付けて説明することができている。	13	15
B	1点～2点の事柄について消費者と販売者の思いを関連付けて説明することができている。	11	9
C	1点の事柄も説明できない。または、消費者と販売者の関連を正しく説明できていない。	3	3

★ 解答例A

- お店は並べ方を工夫している。それはお客さんが品物を選びやすいという願いをかなえるためである。また、お店は値札の色も工夫している。それは、お客さんに広告の商品を分かりやすくして、お値打ち商品を買ってもらうためである。そして、お店の外にカート置き場があるのは、いっぱい買い物をしたお客が駐車場まで買ったものを楽に運ぶことができるからだ。
- お店の裏側にいっぱい商品が準備してあつて、商品がなくなったらすぐに出せるようにしてあつて、お客は品ぞろえがいいからいろいろ選びやすい。お店は商品を種類ごとに集めて並べ方を

工夫しているから、お客は商品を選びやすい。スーパーAは値引きをして、お客に安い商品をいっぱい買ってもらえるようにしている。

★ 解答例B

- お店は値引きをしている。なぜなら、このお店はお客さんに安いと言われ、お客さんを多くするため。お店は駐車場が広い。なぜなら、多くのお客さんが車で来て、いっぱい買い物ができるようにするため。
- お店は並べ方を工夫している。それは、お客さんが品物を見やすく選びやすくするためです。お店は遅くまでやっている。それは、お客はお店が近くていつでもほしいものがあると、すぐに買い物に行けて便利。
- お店は冷凍室で魚などをとっておいて、商品の準備をしていて、品ぞろえをよくしている。それは新鮮なものを食べてもらいたいというお店の人の願いがある。

★ 解答例C

- 広告があれば、お客さんを呼ぶことができる。

事後テストと保持テストの結果、スーパーマーケットの人気の理由について、いくつかの用語を結び付け、消費者と販売者の立場から説明できている児童（B判定以上）は、約8割で変化がなかった。

8 成果と課題

(1) 成果

① 協同学習における話し合いの設定

問題解決的な学習の過程において、ペアやグループで話し合い活動に取り組んだ。第2時や第6時では、学習問題の解決に向けて、何を調べればいいのかを考えたり、分かったことを踏まえて自分と友達の考えを比較したりして、新たな自分たちの問題づくりをしていった。仲間同士の意見を取り入れることで、学習問題解決のためへの新たな視点を得ることができ、社会的事象に対する視野を広げることができていた。

② ワークシートによる学習支援

ワークシートの活用は、児童がそれぞれの学習において、何を考え、何を調べ、どんなことを発見したらよいのかを支援するのに役立った。また、学習したことを整理することが苦手な児童にとっては、学習してきたことをまとめ、学んだことを整理し、習得することにつながった。

③ 体験的な学習による意欲の高まりと知識の定着

2回の見学は、取材活動を通して、児童が自ら抱いた疑問を自らの手で解決していくことで調べることの楽しさを体感するとともに、事象の意味を理解し、働く人の思いを感じ取ることができた。また、保持テストの結果を見ると、体験的に習得した知識は時間を経ても、大きな変化は見られない。更なる日常の生活体験を通して、それぞれの知識がより体系的に習得されていく面も見られる。体験的な活動は、主体的な学びの意識を高め、知識の習得につながると考えられる。

(2) 課題

① ワークシートの在り方

児童の中には、ワークシートをうまく活用できない子や問題をよく理解せずにまとめている子がいた。ヒントを与えすぎると児童の主体的な表現活動にならないことがある一方で、学習のヒント（視点）がなければ学習を進められない児童もいる。ヒントの与え方を検討していきたい。

② 自作テスト問題

昨年度の研究では、「消費者の願い」「販売者の工夫」について、それぞれ記述することはできていたので、今年度は「消費者と販売者の工夫と願いを結び付けてまとめる」という設問でテストを試みた結果、文章表現に差が出た。記述のさせ方、選択肢にする用語などを再考し、よりよいテスト問題を検討する必要がある。